

アンケート自由意見について

職員アンケートの自由意見として、女性 436 件、男性 309 件の回答があり、件数の多い上位 4 つを抜粋しています。また、その他男女でそれぞれ特徴的な意見を抜粋しています。

- ① 社会や制度の整備について 115 件（女性 76 件、男性 39 件）
 - ・社会や職場、昇任の制度・体制をもっと整備すべきである。
 - ・日本の労働環境が劣悪である。残業を少なくし、労働時間の短縮を図るべき。
 - ・保育時間を延長し、子育てしやすい環境整備が必要である。
 - ・フレックスタイムや在宅勤務の仕組みづくりなど、仕事のやり方自体も見直す必要がある。
- ② 管理職の登用について 110 件（女性 36 件、男性 74 件）
 - ・数値目標やアファーマティブ・アクションには反対である。
 - ・男女関係なく能力本位で管理職へ登用すべき。
- ③ 男性職員の意識改革について 80 件（女性 51 件、男性 29 件）
 - ・男性、上司、管理職の意識改革が必要である。
 - ・男性が育児・介護にもっと積極的(主体的)に関わるべき。
 - ・男性職員の働き方を変えるべき。
- ④ 代替要員・人事配置について 79 件（女性 42 件、男性 37 件）
 - ・代替要員が不足している。
 - ・育児・介護休暇の取得状況を考慮しない人事配置に問題がある。

（女性職員のその他の意見）

- ① 育児に関する制度について 74 件
 - ・女性活躍の取組みと育児職免の廃止が矛盾している。
(育児職免制度については、平成 26 年 2 月に 1 年延長を決定している。)
 - ・育児に関する便宜供与が、小学校入学を機にすべて終了するのはおかしい。
- ② 配偶者や家族のサポートについて 13 件
 - ・男女ともに働くためには、両親と同居もしくは近くに住む等の工夫が必要である。
 - ・配偶者の理解や家族のサポートが必要である。
- ③ 子育て支援について 11 件
 - ・保育所、病児保育の充実を切に望む。消防局・交通局など 24 時間勤務の職場には必須である。
 - ・近接病院と連携したり、病院内保育所に相乗りしたりする等はできないか。

- ④ 職員の復職支援について 10件
 - ・育児休暇期間中には、定期的に職場から連絡が入るなど、復職に向けて意識向上やサポートの仕組みが必要である。
- ⑤ 女性の甘えについて 8件
 - ・女性の中にも「自分は女性だから」と甘えている人は多くいる。
 - ・男性の意識を変える前に女性自身の自覚や意識改革が必要である。

(男性職員のその他の意見)

- ① 性別役割分担と女性の登用について 30件
 - ・女性は家庭、男性は仕事ということを否定する必要はない。
 - ・育児・介護は女性が主であり、管理職になりたいと思う女性がどの程度いるのか確認すべきである。
 - ・女性が結婚、出産、育児のブランクで男性より出世が遅れるのは仕方がない。長期休暇等で周囲の人にしわ寄せがくる。
- ② 女性職員への特別待遇について 21件
 - ・女性の休暇制度が手厚すぎる。
 - ・働く女性を強調しすぎており、女性が権利の上に胡坐をかいている。
- ③ 子育て支援について 13件
 - ・仕事と子育ての両立が課題になっており、子育て支援の充実が最重要課題だと思う。
 - ・育児や介護で離職した女性の再就職支援が必要である。
- ④ 女性登用の方策について 7件
 - ・女性にもっと重要な仕事・ポジションを与えるべき。
 - ・女性管理職を育てる方策が必要である。